

=====

第222号を発信します。2017年02月03日(金)

テーマ 商品力の強化と商品開発の方向性（6回シリーズの第4回）

著者：(株) I&C・HosBiz センター
石川 昌平

◆第4回：商品開発の方向性・着眼点（その1）地球にやさしい商品開発

すでに、第4回まで解説しました。あと2回解説いたしますので、ご高覧いただければと存じます。

1. 地球環境と環境調和型商品

(1) 地球環境の現状

現在も日々刻々と地球環境は、悪化の傾向にあります。

温暖化による天候の変化、海面上昇による浸水被害、大気汚染、酸性雨水質汚染、土壌汚染、オゾン層破壊による紫外線被害、そして放射能による汚染、戦争による破壊等で生態系は激変し、地球環境には、動植物の生存ひいては人類の生存に影響を与えている課題が多くあります。

自然豊かな地球とどのように付き合っていくかは、人類に課せられた命題として、取り組んでいかなければなりません。

(2) 地球環境にやさしい商品開発

地球環境への責任を負う人類として、せめて、これから開発する商品は地球にやさしい商品でなければならないのです。

即ち、地球環境への負荷を低減した環境調和型の商品開発を行っていかなくてはなりません。また、循環型の経済、消費活動にライフスタイルを切り替えて、持続可能な生活様式が求められています。

こうした環境にやさしい商品に対する消費者の関心は次第に高まってきており、消費活動の選択肢となってきているので、今後の商品開発の一つの方向を示しています。

2. エコ対応規格：ISO14000とLCA

(1) ISO14000（環境ISO）

ISO14000規格ファミリーが定める「環境マネジメントシステム」のことで、企業の活動、製品、サービスによって生じる環境への影響を持続的に改善するためのシステムを構築し、改善していくことを目的としています。

近年、企業の社会的責任を評価する際の基準にも利用されることもあり、環境改善をすることで企業評価が高まるというメリットもあります。

(2) LCA

ライフサイクルアセスメント LCA (Life Cycle Assessment) とは、製品やサービスの環境影響を評価する手法で、製造、輸送、販売、使用、廃棄、再利用まで各段階での環境負荷を明らかにしていくものです。

以下にその手法の枠組を示します。

①目的、評価範囲の設定

システム境界と機能単位、評価する環境負荷を決め、評価の目的を明らかにする。

②インベントリ分析

エネルギーや材料などがどれだけ投入され、また排気ガスや廃棄物がどれだけ放出されたかを分析する。

③影響評価

環境負荷（二酸化炭素などの温室効果ガス、他）を、環境影響に換算する。

③解釈（説明：Interpretation LCA の用語）

上記、①②③の各段階で、LCA 実行者とステークホルダーが話し合い、解釈が行われる。製品・サービスの環境負荷への理解が深まり、より適切な意思決定が目指されるニーズとシーズの棚卸を行う。

3. 商品開発

(1) コンセプト

言うまでもなく、環境調和型商品への開発です。

開発コンセプトは、「軽量・小型・省エネ」であるが、開発過程では、上述の LCA の手法に基づく評価を行い、使用資材等は、環境負荷の少ない工程で製造された資材をグリーン調達（注：1）で行うことが望ましいのです。

(注：1)

国や地方自治体、企業などが、製品の原材料・部品や資材、サービスなどを購買先から調達する際に、環境負荷の小さいものを優先的に選ぶ取り組みのことを言います。
平成12年に「グリーン購入法」が制定されて国等の行政が率先してグリーン調達を推進していくことになっています。

(2) 開発のポイント

次の点が開発のポイントです。

- ①環境適合設計 DfE：ISO 14062 に基づく設計（注：2）
- ②組立・分解性設計：組立、分解性の考慮
- ③軽量化・小型化・省エネ設計：使用原料、使用エネルギーの低減
- ④エネルギー削減：生産工程でのエネルギー削減
- ⑤メンテナンス：メンテナンス性
- ⑥長寿命化：長寿命化による使用エネルギーとのバランス

(注：2)

- ・環境適合設計は“Design for Environment”の翻訳で DfE とも言います。
- ・ISO 14062 (JIS Q 0007)：目的は、製品の機能性を維持・改善しつつ、製品の

環境影響を低減するための設計のガイドラインとすることにあります。

- ISO14001 環境マネジメントシステムの一環として運用します。また、新製品開発プロセスあるいは新製品開発システムにおける重要なガイドラインとなりますので、ISO9001 品質マネジメントシステムと関連づけることも推奨しています。

(3) 新商品評価レポート(注:3)による財務的評価とバランスさせて、持続可能な企業活動を選択します。

(注:3)

「新商品評価レポート」という4種類の資料の中のひとつです。ご希望の方には別途お送りしますので、下記のURLにある「お問合せ」に記入のうえメールをください。

<http://xn--fiqztj72ae5m.net/> 中小企業、Net

次回(第5回)は「商品開発の方向性・着眼点(その2)顧客満足を得る商品企画」をテーマに解説します。

===== お知らせ =====

はやぶさ友の会 第1回 読者交流セミナー

テーマ 75歳のベンチャースピリット
人生に五計あり 老計・死計を中心にして

- 開催日時 02月22日(水) 16時30分~18時30分
終了後有志による懇親会あり
- 開催場所 北とぴあ 802 会議室
JR京浜東北線 王子駅 徒歩3分
- 講師 Captain 平本 靖夫
- 料金 2000円(税込)
- お申し込み先

(株)I&C・HosBiz センター

FAX: 03-5832-9404

Mail: hos_biz@hosbiz.net

下記のURLをプリントし、必要事項を記入の上FAXにてお申込みください。

http://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723lpdf_1_118.pdf

■■「中堅・中小企業“かかりつけ医”ネットワーク=MSDN」対応 HP 開設■■

“かかりつけ医”とはどんなお役立ちなのかを是非知って、ご活用ください。

新設しましたので、ご高覧いただければ幸いです。

<http://xn--fiqztj72ae5m.net/>

中小企業. Net

*スマホでもご覧いただけます***

リンクは。会員オンリーですので、ご連絡ください。

*中堅・中小企業“かかりつけ医”ネットワーク=MSDN」のねらい

私達は、80%以上の人々が働いている中小企業、小規模企業が「進化・発展、持続」しなければ、世の中は良くなることはないとの信念で、経営者との信頼関係のもとで育成経営支援に取り組んでおります。

◆目的◆

イノベーションの時代・中小企業の「進化・発展・持続」の実現！

◆“かかりつけ医”とは、中小企業・小規模企業の育成経営支援を使命とし経営者を親身になってサポートする専門家（税理士・診断士・社労士等）で、3Winの実現を推進する企業の主治医（ビジネスドクター）です。

* 3Win=経営者・育成経営支援家・地域がお互いに繁栄する=

<http://xn--fiqztj72ae5m.net/> 中小企業. Net

経営環境の創出・適応して「安心・安全」の企業経営ができる、お役に立ちますように「中堅・中小企業“かかりつけ医”ネットワーク=MSDN」を構築推進しております。

◆企業経営の「安心」とは、いつでも経営者が使えるキャッシュが手許にあることです。「安全」とは、企業経営のカジ取り（行き先・アクセル・ブレーキ）を、先を見通したマネジメント会計情報（注）をもとに、行うことです。

（注）経営者の意思決定に役立ち、キャッシュフローを「安心」の状態に保ち、収益力を高めるための、部門別（部署別・商品別・得意先別・仕入先別等）の管理会計のことです。税務会計との違いは、税務会計は過去の実績にもとづく納税計算が目的なのに対して、マネジメント会計は、現在・未来を見通して刻々と（即時に）経営情報を経営者に提供して、未来のビジネスチャンスの獲得やリスクに備えることができる点です。ライバルに差をつけるには、体得することがNO1になる条件であります。

II、MSDNは4つの支援サービスを提供します。

- 1、ビジネスドック（企業の健康診断）・・・208号・・・バックナンバー参照
- 2、“かかりつけ医” インターン養成講座・・・209号・・・バックナンバー参照
- 3、クラウド型遠隔双方向対話式育成経営支援（SOMAC）・・・210号・・・同上
- 4、ビジネスマッチング・・・第3回ビジネスモデル発表交流大会・・・211号・・・同上

<http://xn--fiqztj72ae5m.net/> 中小企業. Net

***** セミナー等のご案内 *****

■経営特くんゲーム（マネジメントゲーム）のお知らせ■

◆第55回以降の「トライアルゲーム」◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

日程が決まりましたのでお知らせします。

- | | | |
|---------|----------|-------------|
| 1) 第55回 | 2月25日(土) | 13:00~18:00 |
| 2) 第56回 | 3月25日(土) | 13:00~18:00 |
| 3) 第57回 | 4月22日(土) | 13:00~18:00 |
| 4) 第58回 | 5月27日(土) | 13:00~18:00 |

●開催場所「経営特訓道場」

JR 駒込駅南口 徒歩7分 東京メトロ南北線駒込駅1番出口 徒歩6分

◆経営特訓士資格認定講座◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

◆経営特訓士インストラクター資格認定講座◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

◆お問い合わせは URL <http://keiei-tokkunshi.jp/>

次回以降の講座日程は決定次第、改めてご案内します。

=====

◆経営相談は

<http://xn--fiqztj72ae5m.net/> 中小企業、Net

の「お問合せ」を開き、必要事項をご記入のうえ、送信してください。

=====

一般社団法人 経営特訓士協会（略称：KTGA）

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス：happy@keiei-tokkunshi.jp

発行責任者： 理事長 平本 靖夫、 編集長：石川 昌平

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

<https://1lejend.com/stepmail/delf.php?no=300444>